

泉大津市文化財調査報告30

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報16

1998・3

泉大津市教育委員会



泉大津市文化財調査報告30

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報16

1998・3

泉大津市教育委員会

例 言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。
2. 本調査は、国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額900,000円、国庫補助率50%、府補助率25%、市負担率25%）として、泉大津市が計画・実施したものである。
3. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	埴 四郎
事務局	泉大津市教育委員会社会教育課	
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	虎間 麻実
外業調査員		辻川 陽一
内業調査員		松村まゆみ
4. 本事業は、平成9年度事業として、平成9年4月1日に着手して、平成10年3月31日に完了した。
5. 本書の執筆・編集は虎間が行った。

目 次

第1章 埋蔵文化財調査の状況	1
第2章 発掘調査成果	7
豊中遺跡	7
板原遺跡	10
池浦遺跡	12
虫取遺跡	14
七ノ坪遺跡	15
東雲遺跡	16
報告書抄録	巻末
挿 図	
第1図 遺跡分布図	6
第2図 豊中遺跡調査地点図 (1:5,000)	7
第3図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図	7
第4図 豊中遺跡 第1地点 東壁断面図	8
第5図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図	8
第6図 豊中遺跡 第2地点 出土遺物	8
第7図 豊中遺跡 第2地点 西壁断面図	9
第8図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図	9
第9図 豊中遺跡 第3地点 北壁断面図	9
第10図 板原遺跡調査地点図 (1:5,000)	10
第11図 板原遺跡 第1地点 掘削位置図	10
第12図 板原遺跡 第1地点 第1トレンチ(上)・第2トレンチ東壁(下)断面図	10
第13図 板原遺跡 第2地点 掘削位置図	11
第14図 板原遺跡 第2地点 北壁断面模式図	11
第15図 板原遺跡 第3地点 掘削位置図	11
第16図 板原遺跡 第3地点 北壁断面図	11
第17図 池浦遺跡調査地点図 (1:5,000)	12
第18図 池浦遺跡 第1地点 掘削位置図	12
第19図 池浦遺跡 第1地点 北壁断面図	13

第20図	池浦遺跡 第2地点 出土遺物	13
第21図	池浦遺跡 第2地点 掘削位置図	13
第22図	池浦遺跡 第2地点 東壁断面図	13
第23図	虫取遺跡調査地点図 (1 ; 5,000)	14
第24図	虫取遺跡 調査地 掘削位置図	14
第25図	虫取遺跡 調査地 北壁断面図	14
第26図	七ノ坪遺跡調査地点図 (1 ; 5,000)	15
第27図	七ノ坪遺跡 調査地 掘削位置図	15
第28図	七ノ坪遺跡 調査地 西壁断面図	15
第29図	東雲遺跡調査地点図 (1 ; 5,000)	16
第30図	東雲遺跡 調査地 掘削位置図	16
第31図	東雲遺跡 調査地 西壁断面図	16

挿 表

表1	遺跡別届出件数	1
表2	遺跡別調査件数	2
表3	平成9年度調査結果一覧	2
表4	遺跡別届出件数 (平成8年度追加分)	5
表5	遺跡別調査件数 (平成8年度追加分)	5
表6	平成8年度調査結果一覧 (追加分)	5

図 版

- 1 豊中遺跡第1地点調査トレンチ (上) / 豊中遺跡第2地点調査トレンチ (下)
- 2 豊中遺跡第3地点調査トレンチ (上) / 板原遺跡第2地点調査トレンチ (下)
- 3 板原遺跡第1地点第1トレンチ (上) / 板原遺跡第1地点第2トレンチ (下)
- 4 板原遺跡第3地点調査トレンチ (上) / 池浦遺跡第1地点調査トレンチ (下)
- 5 池浦遺跡第2地点調査トレンチ (上) / 虫取遺跡調査地点トレンチ (下)
- 6 七ノ坪遺跡調査地点トレンチ (上) / 東雲遺跡調査地点トレンチ (下)
- 7 豊中遺跡第2地点出土遺物 (上) / 池浦遺跡第2地点出土遺物 (下)

第1章 埋蔵文化財調査の状況

平成9年度の泉大津市における埋蔵文化財発掘届出件数及び調査件数は、表1、2のとおりである。届出件数は、平成10年1月31日現在で261件と、昨年同時期の201件より大幅に増加している。平成5年以降、わずかではあるが増加傾向が続いている。

届出工事等の種別で見ると、個人住宅関連工事が85.5%（90%）、工場・倉庫1.5%（0.5%）、店舗・事務所1.5%（4%）、共同住宅3.8%（3.5%）、となっていて、個人住宅関連工事、店舗・事務所建設工事の減少以外は昨年とほぼ同様である（（ ）内は昨年の数字）。上記の工事種別の外に、今年度は分譲住宅が4.6%となっている。

遺跡別の発掘調査件数が最も多いのは、豊中遺跡と板原遺跡で4件、次いで池浦遺跡の2件（前年度追加報告分含む）である。これらは、そのほとんどが共同住宅及び個人住宅の建設工事に先立つ調査で、トレンチ掘削による土層断面及び床面観察に終始し、全面調査にまで至るものは無かった。大半の個人住宅関連工事は、基礎掘削深度が浅いことから立会調査とし、ガス管及び水道管引き込み工事、架線支持柱建設工事は慎重工事の実施を指示し調査は行っていない。

表1 遺跡別届出件数

（平成9年4月1日～平成10年1月31日）

遺跡名	件数	内 訳							その他
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工事・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	分譲住宅	
池上曾根遺跡	58	27	26		1	1		1	2
豊中遺跡	35	9	15	2	1	1	6		1
虫取遺跡	78	47	20	2	1	1	1	5	1
大園遺跡	2	1	1						
板原遺跡	16		7	2			3	4	
池浦遺跡	42	11	26	2				2	1
穴師遺跡	9	1	7			1			
七ノ坪遺跡	9	3	4		1				1
東雲遺跡	11	1	8	1					1
穴田遺跡	1	1							
計	261	101 (38.6%)	114 (43.9%)	9 (3.4%)	4 (1.5%)	4 (1.5%)	10 (3.8%)	12 (4.6%)	7 (2.7%)

表2 遺跡別調査件数

(平成9年4月1日～平成10年1月31日)

遺跡名	件数	内 訳	
		発掘調査	立会調査
池上曾根遺跡	13		13
豊中遺跡	8	3	5
虫取遺跡	13	1	12
板原遺跡	5	3	2
池浦遺跡	6		6
七ノ坪遺跡	5	1	4
東雲遺跡	2	1	1
穴田遺跡	1		1
穴師遺跡	1		1
計	54	9	45

表3 平成9年度調査結果一覧

(平成9年4月1日～平成10年1月31日)

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考(調査番号)
4・1	北豊中町2丁目 380-15	池浦遺跡	立会調査	鉄骨造1階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
4・1	寿町101-17	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行わなかった。
4・2	宇多1046-5	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行わなかった。
4・2	下条町253-3-4	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
4・4	森町2丁目173-1	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行わなかった。
4・14	北豊中町2丁目35-1	豊中遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
4・17	板原224-1の一部	板原遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
5・7	池浦町2丁目503、680 の各一部	虫取遺跡	発掘調査	分譲住宅建設の宅地造成工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。 (9703)
5・12	豊中町1丁目671-5 の一部	穴師遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
6・3	北豊中町2丁目505- 2、3の一部	七ノ坪遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
6・10	北豊中町2丁目983-1	豊中遺跡	立会調査	水道管引き込み工事に伴う掘削で遺構・遺物は認められなかった。
6・10	我孫子298	虫取遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行われなかった。
6・16	北豊中町2丁目477-8	七ノ坪遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
6・17	板原1056、1070、1071、1072、1073	板原遺跡	発掘調査	分譲住宅建設の宅地造成工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9704)
6・20	曾根町1丁目122-11	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
6・26	北豊中町3丁目974-9	豊中遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
7・3	東豊中町1丁目68-3	豊中遺跡	発掘調査	鉄筋コンクリート造2階建共同住宅建設に先立つ発掘調査で遺構は認められなかった。(9705)
7・4	宇多1048-105	虫取遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
7・14	池園町118-1	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造1階建倉庫建設工事による掘削で基礎は旧耕作土内におさまっていた。
7・14	千原町2丁目401-5	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行わなかった。
7・16	下条町15-34	東雲遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
7・18	虫取10-2	虫取遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
7・23	下条町168-6	池浦遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
7・24	北豊中町2丁目506-26	七ノ坪遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は行わなかった。
7・24	板原1244、1245	板原遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9706)
8・4	森町2丁目17-9	池上曾根遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
8・16	曾根町1丁目408-1、406-4	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造3階建店舗付き共同住宅建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
8・21	我孫子428	虫取遺跡	立会調査	ガス管移設工事に伴う掘削で遺構・遺物は認められなかった。
8・25	我孫子610-1の一部	板原遺跡	立会調査	分譲住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
8・27	下条町614-11	池浦遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
8・27	下条町614-99	池浦遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
9・1	虫取町2丁目1050-6	虫取遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
9・1	寿町623-11の一部 623-12	池浦遺跡	立会調査	木造3階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
9・17	虫取30-15	虫取遺跡	立会調査	木造3階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
9・25	北豊中町2丁目504-3	七ノ坪遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
10・7	宇多1046-9	虫取遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。
10・8	森町1丁目 94-1、-4 94-6、-7	池上曾根遺跡	立会調査	分譲住宅建設に伴う位置指定道路建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
10・13	東豊中町3丁目 83-1の一部	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨造3階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師器検出。(9707)
10・28	板原1074、1075	板原遺跡	発掘調査	鉄骨造2階建共同住宅建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9708)
11・4	池浦町3丁目196	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
11・10	我孫子69-10	穴田遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
11・11	虫取町1丁目 14-8、-9の各一部	虫取遺跡	立会調査	分譲住宅建設に伴う位置指定道路建設工事による掘削で、遺構・遺物は認められなかった。
11・14	北豊中町2丁目 509-1、510-1	七ノ坪遺跡	発掘調査	鉄骨造平屋建倉庫建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9709)
11・18	森町2丁目 227-59の一部	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
11・25	旭町88-25、-26	東雲遺跡	発掘調査	保育園建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9710)
12・3	東豊中町2丁目 961-5、-12	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨造3階建共同住宅建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9711)
12・11	豊中町2丁目 962-19	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
12・22	千原町2丁目 102-5	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
12・22	森町2丁目 228-1の一部	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で遺構・遺物は認められなかった。
1・9	曾根町1丁目 28-1の一部	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
1・30	曾根町1丁目205-4の一部	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建専用住宅建設工事による掘削で基礎掘削は盛土内におさまっていた。

表4 遺跡別届出件数(平成8年度追加) (平成9年2月1日～平成9年3月31日)

遺跡名	件 数	内 訳					
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	共同住宅	その他
池上曾根遺跡	6	4	2				
豊中遺跡	8	1	4	1	1	1	
虫取遺跡	7	3	1	1	1		1
大園遺跡	1	1					
板原遺跡	2		2				
池浦遺跡	4	1	2			1	
東雲遺跡	4	2	1				1
七ノ坪遺跡	1			1			
穴田遺跡	1		1				
穴師遺跡	1						1
計	35	12	13	3	2	2	3

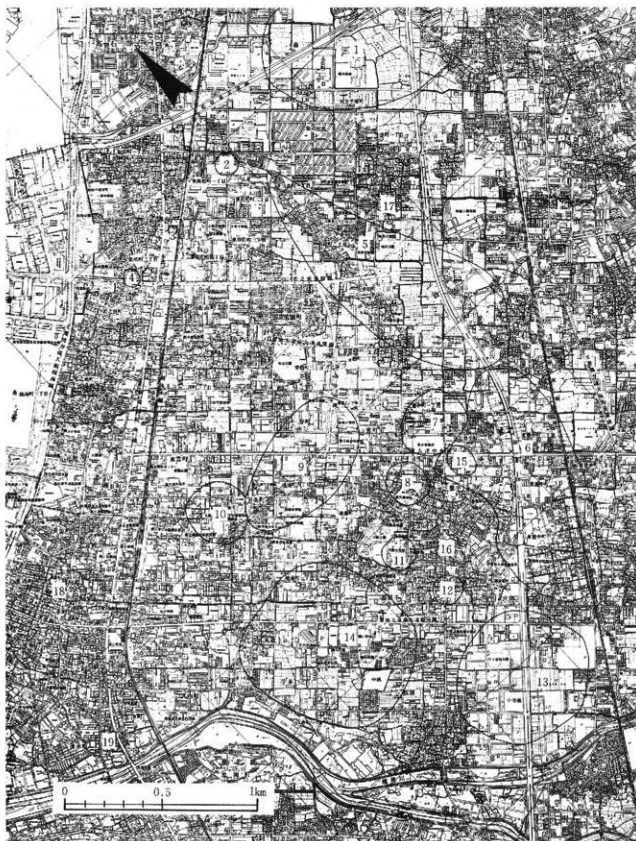
表5 遺跡別調査件数(平成8年度追加) (平成9年2月1日～平成9年3月31日)

遺跡名	件 数	内 訳	
		発掘調査	立会調査
池上曾根遺跡	2		2
豊中遺跡	1		1
池浦遺跡	6	2	4
東雲遺跡	2		2
虫取遺跡	1		1
計	35	2	10

表6 平成8年度調査結果一覧(追加)

(平成9年2月1日～平成9年3月31日)

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
2・5	北豊中町2丁目366-34	豊中遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事に伴う掘削で遺構・遺物は認められなかった。
2・12	曾根町2丁目6-5	池上曾根遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事に伴う掘削で遺構・遺物は認められなかった。
2・14	東雲町68-3、-4、-5、-6、-7	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
2・26	池浦町4丁目228-3	池浦遺跡	発掘調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事に先立つ調査で遺構・遺物は認められなかった。(9701)
3・13	寿町54、355-2、358-1	池浦遺跡	立会調査	店舗建設工事に伴う掘削で遺構・遺物は認められなかった。
3・14	池浦町4丁目238-1の一部	池浦遺跡	発掘調査	鉄骨造共同住宅建設工事に先立つ調査で遺構は認められなかった。弥生土器検出。(9702)
3・28	虫取30-6	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
3・31	森町2丁目120-1の一部	池上曾根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。



- 1.大園遺跡 2.森遺跡 3.牛滝塚 4.助松遺跡 5.池上曾根遺跡 6.豊中遺跡 7.七ノ坪遺跡
 8.穴師遺跡 9.池浦遺跡 10.東雲遺跡 11.穴師薬師寺跡 12.穴田遺跡 13.板原遺跡 14.虫取遺跡
 15.大福寺跡 16.刈田遺跡 17.千原城 18.真鍋城跡 19.城の山

第1図 遺跡分布図

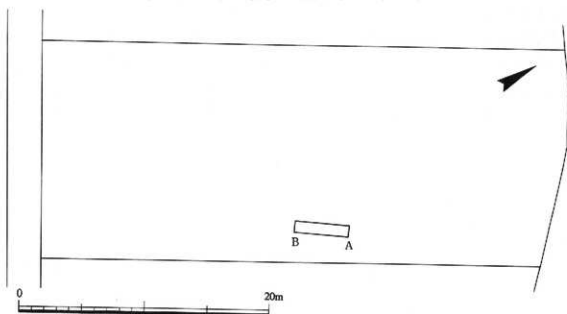
第2章 発掘調査成果

1. 豊中遺跡

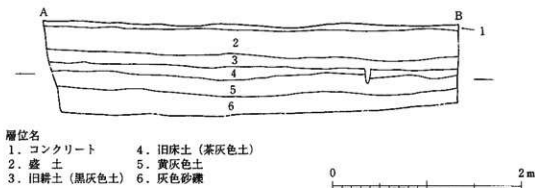
豊中遺跡は、本市で最も継続して大規模な調査が行われている遺跡である。その調査成果より、国道26号線付近は古墳時代の、泉大津中央線付近は平安時代～中世にかけての集落の中心部分であったことがうかがえる。今年度は3件の調査を行ったが、いずれも全面調査には至っていない。



第2図 豊中遺跡調査地点図 (1:5,000)



第3図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図



第4図 豊中遺跡 第1地点 東壁断面図

第1地点 東豊中町1丁目68-3 (調査番号 9705)

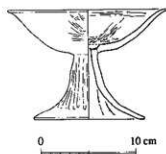
当該地は遺跡の東端に位置し、JR阪和線の線路が隣接している。鉄骨造2階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。敷地の東南隅に幅約1m、長さ約4.5mのトレンチを設定し、深さ約1mまで重機による掘削を行った。トレンチの層序は、上層より、現地表面のコンクリート(1層・5cm)、盛土(2層・25cm)、旧耕土の黒灰色土(3層・10cm)、旧床土の茶灰色土(4層・10cm)、黄灰色土(5層・27cm)、灰色砂礫(6層)の順ではほぼ水平に堆積がみられる。灰色砂礫は上部では粘質土、中部は小石、下部は粗砂がそれぞれ混入している。また、下部は須恵器・土師器の細片がわずかにみられるが、いずれも摩滅が激しく図示し得ない。遺構は認められない。写真撮影・断面図の作成を行い調査を終了した。

第2地点 東豊中町3丁目83-1の一部 (調査番号 9707)

当該地は、遺跡の東端部、JR阪和線より東側に位置する。隣接地は和泉市府中町で、当該地とその北隣のみが泉大津市地番の飛び地となっている。鉄骨造3階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。敷地の東南隅に幅約0.9m、長さ約3.1mのトレンチを設定し、深さ約1.6mまで重機による掘削を行った。トレンチの層序は、上層より、盛土(1層・40cm)、旧耕土の黒灰色粘質土(2層・10cm)、淡灰色シルト(3層)、淡緑灰色シルト(4層)、灰色粗砂(5層・15~40cm)、灰色砂礫(6層)に至る。3層は旧床土と思われ、若干の隆起はあ



第5図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図

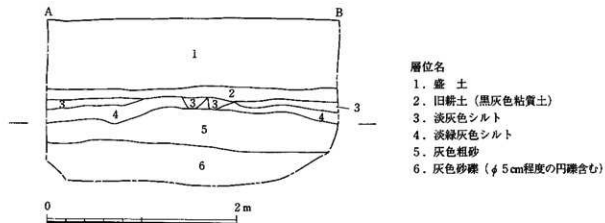


第6図 豊中遺跡 第2地点 出土遺物

るものの、ほぼ水平の堆積が認められる。6層は直径5cm程度の円礫を含む。4層は遺物包含層で、須恵器・土師器を含む。また、5層の上部もわずかに遺物が認められる。

第6図は、5層より検出した土師器高坏である。復元口径16.8cm、器高11.6cm、底径11.5cmを測る。口縁はゆるやかに外反し、端部はやや丸くおさめる。坏部は、内外面ともにヘラミガキが施されていると思われるが摩滅が激しい。脚部外面は、ヘラミガキが施される。5世紀中頃の所産と思われる。

遺構は認められなかった。写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

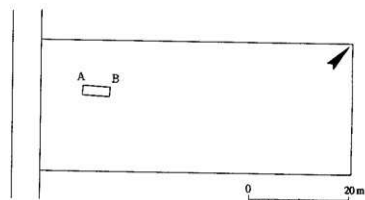


第7図 豊中遺跡 第2地点 西壁断面図

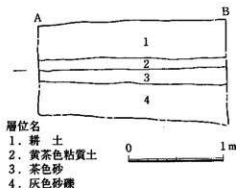
第3地点 東豊中町2丁目961-5、-12 (調査番号 9711)

遺跡中央部よりやや北東に位置し、北側で泉大津中央線の側道と接する。鉄骨造3階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。

敷地中央より南に幅約2m、長さ5.2mのトレンチを設定し、深さ約1mまで重機による掘削を行った。層序は上層より、現表土の耕土(1層・40cm)、黄茶色粘質土(2層・10cm)、茶色砂(3層・12cm)、灰色砂礫(4層)に至る。2層は下部に灰色粘土が混じる。3層は遺物包含層で上部に土師器がみられるが、摩滅が激しい。また、4層はこぶし程度の大きさの円礫が多数混じり、湧水が激しい。遺構は認められない。写真撮影・断面図作成を行い調査を終了した。



第8図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図



第9図 豊中遺跡 第3地点 北壁断面図

2. 板原遺跡

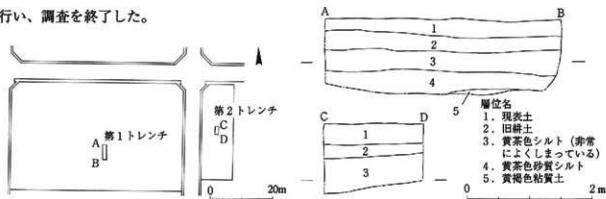
板原遺跡は本市板原町を中心として、和泉市肥子町にまたがる。国道26号線部分の調査で、縄文時代の流路や鎌倉時代の掘立柱建物などを検出しているが、その後の調査では目立った遺構・遺物は認められない。本年度は3件の調査を実施したが、いずれも遺構・遺物は認められなかった。



第10図 板原遺跡調査地点図 (1:5,000)

第1地点 板原1056、1070、1071、1072、1073 (調査番号 9704)

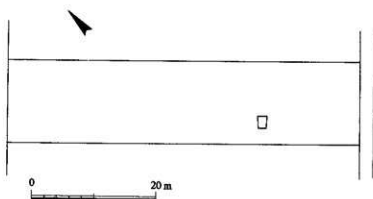
遺跡中央部より南西に位置する。分譲住宅に伴う宅地造成が計画されたため、造成工事に先立ち調査を実施した。工事予定地は道路をはさんで東西2箇所のため、西部を第1トレンチ、東部を第2トレンチとする。まず、西側敷地のほぼ中央部に幅約1.2m、長さ約5mのトレンチを設定し、重機で深さ約1.1mまで掘削を行う。次に東側敷地のほぼ中央に幅60cm、長さ1.5mのトレンチを設定し、重機で約1.1mまで掘削を行う。層序は、旧耕土以下、黄茶色を基調としたシルト及び粘土層がほぼ垂直に堆積している。遺構・遺物は認められない。写真撮影・断面図の作成を行い、調査を終了した。



第11図 板原遺跡 第1地点 掘削位置図 第12図 板原遺跡 第1トレンチ西壁(上)・第2トレンチ東壁(下)断面図

第2地点 板原1244、1245 (調査番号 9706)

遺跡南端に位置し、東に国道26号線の側道が接する。鉄筋コンクリート造3階建共同住宅が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地の中央よりやや南に幅約1.5m、長さ約2mのトレンチを設定し、重機で深さ1.9mまで掘削を行った。盛土、旧耕土、旧床土(1~3層)以下黄白色シルト(4層・15cm)、淡黄白色シルト(5層・55cm)、淡黄灰色シルト(6層・27cm)、淡黄灰色砂質シルト(7層)に至る。遺構・遺物は認められなかったため写真撮影及び断面図作成を行い調査を終了した。



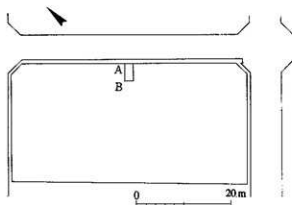
第13図 板原遺跡 第2地点 掘削位置図



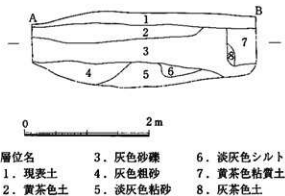
第14図 板原遺跡 第2地点 土層断面式図

第3地点 板原1074、1075 (調査番号 9708)

遺跡西北部に位置し、東で第1地点と隣接する。軽量鉄骨造2階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。敷地中央より北側に幅約1.9m、長さ約1.9mの規模のトレンチを設定して、深さ約1.2mまで重機で掘削を行う。基本的な層序は、上層より、現表土(1層)以下、黄茶色土(2層・26cm)、灰色砂礫(3層・35cm以上)、灰色粗砂(4層)及び淡灰色粘砂(5層)に至る。5層には、一部、淡灰色シルト(6層)がみられる。トレンチの東端では、現表土直下で黄茶色粘質土(7層・55cm)と灰茶色土(8層)が認められるが、これは東側の水路掘削時の掘形であろう。遺構・遺物は認められない。写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第15図 板原遺跡 第3地点 掘削位置図



層位名 1. 現表土 2. 黄茶色土 3. 灰色砂礫 4. 灰色粗砂 5. 淡灰色粘砂 6. 淡灰色シルト 7. 黄茶色粘質土 8. 灰茶色土

第16図 板原遺跡 第3地点 北壁断面図

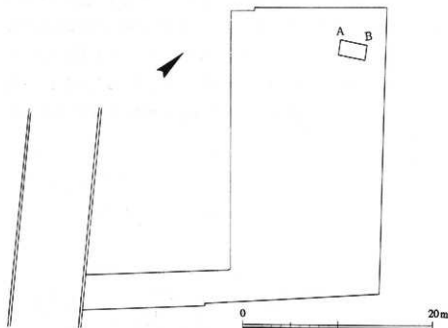
3. 池浦遺跡

弥生時代前期中段階に始まる市内でも最も古い弥生集落として知られている。土器を見る限り、存続期間は非常に短く、前期の段階で衰退してしまうようで、集落の規模もさほど大きくなく市立病院東側約500mの範囲にかけての分布と思われる。本年度は2件の調査の報告をするが、いずれも平成8年度の追加報告である。



第17図 池浦遺跡調査地点図 (1 ; 5,000)

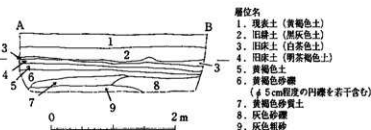
第1地点 池浦町4丁目228-3 (調査番号 9701)



第18図 池浦遺跡 第1地点 掘削位置図

遺跡中央よりやや南に位置する。2階建個人住宅建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地北隅に幅約1.5 m、長さ約3 mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ約1 mまで掘削した。層序は、現表土の黄褐色土(1層)、旧耕土の黒灰色土(2層)、旧床土の白茶色土(3層)及び明茶褐色土(4層)、黄褐色土(5層)、

黄褐色砂礫（6層）、黄褐色砂質土（7層）、灰色砂礫（8層）、灰色粗砂（9層）に至る。5層は遺物包含層で土師器をわずかに含むが、遺構・遺物は認められなかった。

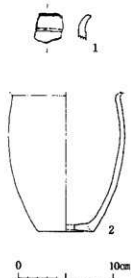


第19図 池浦遺跡 第1地点 北壁断面図

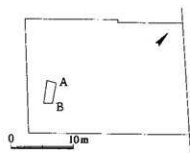
第2地点 池浦町4丁目238-1の一部（調査番号 9702）

遺跡中央部よりやや西寄りに位置する。5階建共同住宅建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地の西端に幅1.5m、長さ3.5mの規模のトレンチを設定し、深さ約1mまで重機で掘削を行う。層序は、盛土（1層）旧耕土の黒灰色土（2層）、旧床土の乳灰色土（3層）、黄褐色砂混じり土（4層）、灰色粗砂（5層）以下、北側では黄褐色シルト（6層）、灰色砂礫（7層）に至る。南側では5層以下は、茶褐色粘質土（8層）、暗灰色粘質土（9層）、黄褐色粘質土（10層）、茶褐色シルト（11層）が相互に堆積する。11層はピット状の堆積を示すが、10層との区分が明確でない。第20図は、11層から検出した弥生土器である。（1）は甕である。口縁部がゆるやかに外反し、端部に刻み目を、端部より約3cm下方にヘラガキ沈線を施す。外面は横方向のヘラミガキが認められる。（2）も甕である。口縁部と体部の大部分が欠損しているが、無文系の土器と思われる。口縁は緩やかに外反し、胴部はやや砲弾状の膨らみを持つ。底部はわずかに窪み底を呈する。復元値は口径12cm、器高15cm、底径5.8cm。胎土に2~3mmの小石を多く含む。内外面の調整は摩擦が激しく不明である。（1）・（2）ともに弥生時代前期に属すると思われる。

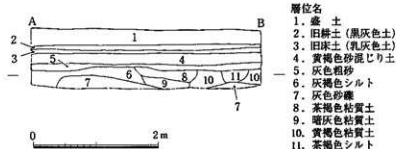
土器の検出はあったが、遺構が確認できなかったため写真撮影及び断面図作成を行い調査を終了した。



第20図 池浦遺跡 第2地点出土遺物



第21図 池浦遺跡 第2地点 掘削位置図



第22図 池浦遺跡 第2地点 東壁断面図

4. 虫取遺跡

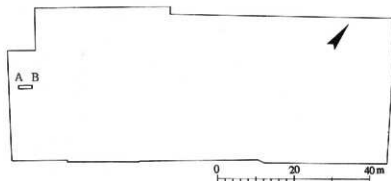
本遺跡は、市の南西部に位置し、市立南公民館を中心に東西750 m、南北850 mの規模をもつ。昭和59年の調査で、縄文後期～晩期の土器や弥生時代前期の土器が人工溝から検出されているが、その後大規模な調査は行われていない。



第23図 虫取遺跡調査地点図 (1:5,000)

調査地点 池浦町2丁目503、680の各一部 (調査番号 9703)

当該地は遺跡中央部よりやや北東に位置する。分譲住宅建設に伴う宅地造成が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。まず敷地中央から南寄りに幅約0.9 m、長さ約4 mのトレンチを設定し、深さ約1.5 mまで重機で掘削を行う。層序は、盛土(1層)のみで、旧建物のコンクリート基礎部分が含まれていた。遺構・遺物は認められず、写真撮影及び断面図作成を行い、調査を終了した。



第24図 虫取遺跡 調査地 掘削位置図



第25図 虫取遺跡 調査地 北壁断面図

5. 七ノ坪遺跡

北豊中町一帯に所在する。遺跡の名称は、中心部分の字名が「七ノ坪」であることによる。周囲約1kmと小規模な遺跡ではあるが、弥生時代～古墳時代にかけての遺構が府立泉大津高校周辺部分で数多くみつまっている。



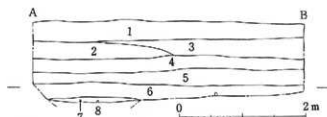
第26図 七ノ坪遺跡調査地点図 (1:5,000)

調査地点 北豊中町2丁目509-1、510-1 (調査番号 9709)

当該地は遺跡の東端に位置する。鉄骨造平屋建倉庫の建設が予定されたため、工事に先立って、調査を実施した。敷地の東隅に幅約2m、長さ約4.4mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ約1.3mまで掘削を行う。層序は上層より、現地表面の茶色土(1層・26cm)、旧盛土の茶黄色土(2層・20cm)及び青灰色砂礫(3層・30cm)、旧耕土の茶灰色土(4層・20cm)、灰色砂(5層・30cm)、灰色土(6層・26cm)、青灰色シルト(7層)、黄茶色土混じり青灰色シルト(8層)に至る。6層及び8層は耕土で、調査に立ち会った地権者によると、2度にわたり田畑として利用されていたということである。また、7層には、上層の6層(旧耕土)からと思われる木杭が断面に認められる。8層は遺物包含層で土師器が認められる。8層より下層では遺構・遺物の検出の可能性が大きい、建物基礎掘削深度が1m以内におさまる構造となっているため、写真撮影・断面図作成を行い調査を終了した。



第27図 七ノ坪遺跡 調査地 掘削位置図



層位名

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 現表土 | 5. 旧盛土(灰色砂) |
| 2. 旧盛土(茶黄色土) | 6. 灰色土 |
| 3. 旧盛土(青灰色砂礫) | 7. 旧耕土(青灰色シルト) |
| 4. 旧耕土(茶灰色土) | 8. 黄茶色土混じり青灰色シルト |

第28図 七ノ坪遺跡 調査地 西壁断面図

6. 東雲遺跡

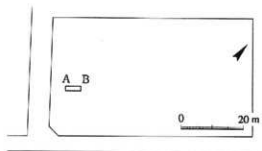
昭和52年の調査で、古墳時代前期遺構及び中世の遺構が発見されたが、その後は、大規模な調査は実施していない。本年度は1件の調査を実施した。



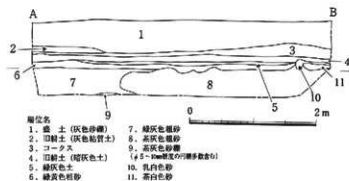
第29図 東雲遺跡調査地点図 (1:5,000)

調査地点 旭町88-25、-26 (調査番号 9710)

遺跡の西端に位置する。鉄骨造2階建保育園の建設工事に先立って調査を実施した。敷地中央から南寄りに、幅約1.4 m、長さ約5 mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ約1.2 mまで掘削を行う。トレンチの層序は上層より、現地表土の灰色砂礫 (1層・45cm)、旧耕土の灰色粘質土 (2層・10cm) コークス (3層・5cm)、旧耕土の暗灰色土 (4層・7cm)、緑灰色土 (5層・5cm)、緑灰色粗砂 (7層) 及び茶灰色粗砂 (8層) 以下、茶灰色砂礫 (9層) に至る。5層以下、北側の一部分で、乳白色砂 (10層) 及び茶白色砂 (11層) が認められるが、遺構・遺物は検出できなかった。写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第30図 東雲遺跡 調査地 掘削位置図



第31図 東雲遺跡 調査地 西壁断面図

報告書抄録 その1

ふりがな	いずみおおつしまいぞうふんかぎほくつちようさがいほう							
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報							
副書名								
巻次	16							
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告							
シリーズ番号	30							
編者名	鹿間麻実							
編集機関	泉大津市教育委員会							
所在地	〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号 TEL 0725-33-1131							
発行年月日	西暦 1998年3月27日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ***	東経 ***	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
とよ 豊 中	大阪府泉大津市 東雲中町1丁目68-3	272060		34度 29分 30秒	135度 25分 40秒	19970703	4.5	鉄骨2階建共同 住宅建設に伴う事 前調査
	東雲中町3丁目 83-1の一部			34度 29分 30秒	135度 25分 40秒	19971013	2.79	鉄骨3階建共同 住宅建設に伴う事 前調査
	東雲中町2丁目 961-5、-12			34度 29分 30秒	135度 25分 40秒	19971203	10.4	鉄骨3階建共同 住宅建設に伴う事 前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
豊 中	村落 社寺跡	縄文	遺構は検出されなかった		須恵器・土師器 破片			
		古墳	遺構は検出されなかった		土師器高坏			
		平安 中世	遺構は検出されなかった		土師器 破片			

報告書抄録 その2

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
板原	大阪府泉大津市 板原1070、1071、1072、1073 板原1056	272060		34度 29分 00秒	135度 25分 10秒	19970617	7.65	分譲住宅建設時の 宅地造成に伴う 事前調査
	板原1244、1245			34度 29分 00秒	135度 25分 10秒	19970724	3.0	鉄骨3階建共同 住宅建設に伴う事 前調査
	板原1074、1075			34度 29分 00秒	135度 25分 10秒	19971028	3.61	軽量鉄骨2階建 共同住宅建設工事 に伴う事前調査
池浦	大阪府泉大津市 池浦町4丁目228-3	272060		34度 29分 50秒	135度 25分 10秒	19970226	4.5	2階建個人住宅 建設工事に伴う事 前調査
	池浦町4丁目238-1 の一部			34度 29分 50秒	135度 25分 10秒	19970314	5.25	5階建共同住宅 建設工事に伴う事 前調査
虫取	大阪府泉大津市 池浦町2丁目503、680 の各一部	272060		34度 29分 20秒	135度 24分 50秒	19970507	3.6	分譲住宅建設時の 宅地造成に伴う 事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
板原	集落	縄文 古墳 中世 近世	遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった			
			遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった			
			遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった			
池浦	集落	弥生 古墳 中世	遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった			
			遺構は検出されなかった		弥生土器			
虫取	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった			

報告書抄録 その3

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地		コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
			市町村	遺跡番号					
七ノ坪	大阪府泉大津市 北畠中町2丁目 509-1、510-1		272060		34度 29分 40秒	135度 25分 10秒	19971114	8.8	鉄骨平屋建倉庫 建設に伴う事前調査
東雲	大阪府泉大津市 旭町88-25、26		272060		34度 29分 50秒	135度 24分 50秒	19971125	7.0	鉄骨2階建保育 園建設に伴う事前 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
七ノ坪	集落 その他 の墓	弥生 古墳	遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった				
東雲	集落	古墳 中世	遺構は検出されなかった		遺物は検出されなかった				

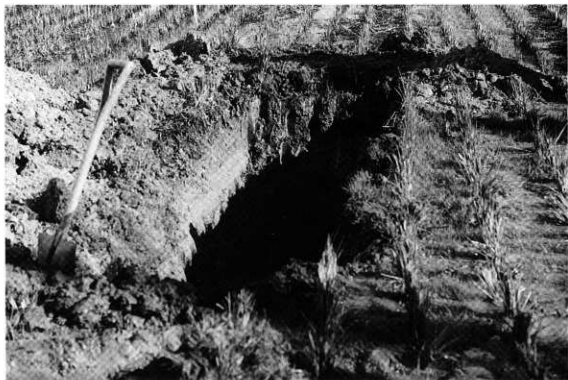
圖 版



豊中遺跡第1地点調査トレンチ



豊中遺跡第2地点調査トレンチ



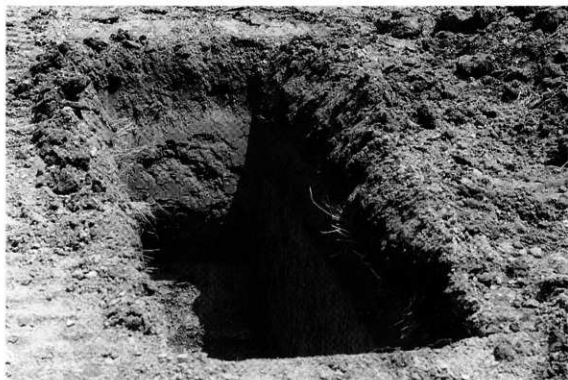
豊中遺跡第3地点調査トレンチ



板原遺跡第2地点調査トレンチ



板原遺跡第1地点第1トレンチ



板原遺跡第1地点第2トレンチ



板原遺跡第3地点調査トレンチ



池浦遺跡第1地点調査トレンチ



池浦遺跡第2地点調査トレンチ



虫取遺跡調査地点トレンチ



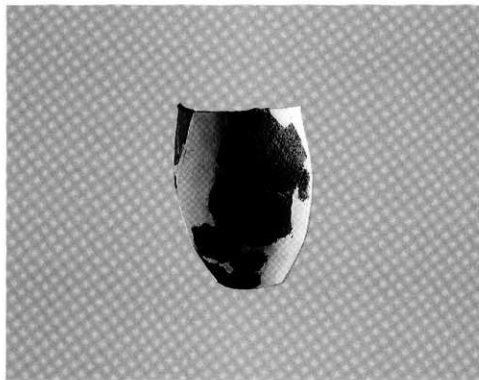
七ノ坪遺跡調査地点トレンチ



東雲遺跡調査地点トレンチ



豊中遺跡第2地点出土遺物



池浦遺跡第2地点出土遺物

泉大津市文化財調査報告30

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報16

1998年3月

発行 泉大津市教育委員会
編集 社会教育課
泉大津市東雲町9番12号
印刷 和泉市池上町460番地の33
和泉出版印刷株式会社

